

農業被害が増えているクマの対策をしたい！

令和7年度版
(R7.4)

基本の対策から農業被害急増時の捕獲強化まで、状況に応じたクマの対策を支援します。

平時

複合対策（クマ）

生息調査、調査に基づくゾーニングと生息環境管理を含む、地域ぐるみの総合的な対策の実施を支援。

補助率：定額
限度額：取組数に応じ市町村あたり
100万円又は200万円

※被害額に係る要件を廃止しました。



生息調査に
基づくゾーニング



研修会の開催



ドローンによる
安全な現場確認等
ICT機器の導入

捕獲活動

- ①捕獲機材の導入経費
 - ②わなの設置、見回り等を含む捕獲活動に係る日当払い
 - ③農地周辺での捕獲活動に係る頭数払い
- 補助率：
- ①, ② 1/2以内（実施隊が行う場合は定額）
（①の上限：箱わな（大型）119千円/基）
 - ③ 定額（上限：クマ（成獣）8千円/頭）



農業被害急増時

クマ特別対策

農地周辺における、有害性の高い個体の捕獲対策の強化を支援。

補助率：定額
限度額：都道府県3,000万円、協議会300万円

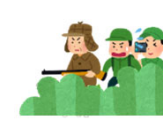
採択要件

- ・捕獲区域、時期、目標等を含む捕獲計画を作成し、捕獲従事者への支援水準の引き上げ等に留意した単価を設定し、国に協議すること
- ・専門家による生息状況調査に基づくゾーニング・生息環境管理の取組を実施すること
- ・捕獲にあたっては個体数等についての適切なモニタリングの実施を前提とし、二種計画の捕獲目標と整合性を取った捕獲計画を策定すること
- ・事業概要及び捕獲活動経費の単価を公表すること

活用方法の例



捕獲体制の構築



捕獲人材の育成



捕獲活動経費の支援
（日当払い、頭数払い）

緩衝帯等の整備

- ・緩衝帯の設置
 - ・放任果樹の除去
 - ・雑木林の刈り払い
 - ・追い払い
- 補助率：1/2以内
（実施隊が行う場合は、定められた上限額以内で定額支援）
※大規模（1ha以上）整備の場合の上限単価：48万円/ha



放任果樹
の除去

追い払い

侵入防止柵の整備

侵入防止柵の新規または再編整備
※既存の捕獲機材（わな）等を一体的に設置することが要件

補助率：定額
上限単価：電気柵新規整備1段あたり 148円/m（直営施工） 等

基本の対策